

子ども・子育て支援事業計画に基づく確保方策の見通しについて

利用定員と子ども・子育て支援事業計画の関係

			定員 *1	超過受入	計 ※最大受入	計画に定めた 確保方策 ※各年度目標値	最大受入と 確保方策の 差	受入実績 *2
H 28	幼稚園等	1号	435	0	435			410
		幼稚園(私学)	3,200	0	3,200			2,710
		計	3,635	0	3,635	3,047	588	3,120
	2号		1,186	0	1,186	1,121	65	1,082
	3号	0歳	140	26	166	247	△81	166
		1・2歳	584	55	639	736	△97	639
計		5,545	81	5,626	5,151	475	5,007	
H 29	幼稚園等	1号	650	0	650			
		幼稚園(私学)	2,900	0	2,900			
		計	3,550	0	3,550	3,014	536	
	2号		1,183	0	1,183	1,109	74	
	3号	0歳	164	26	190	266	△76	
		1・2歳	637	55	692	772	△80	
計		5,534	81	5,615	5,161	454		

*1 幼稚園(私学)は認可定員、その他は利用定員。

*2 H28の受入実績について、幼稚園等は平成28年11月1日時点、2号、3号は平成28年12月1日時点の実績。

平成29年度も、1号、2号認定子どもでは、十分な受入枠が確保される予定です。
3号認定子どもの受入枠は目標値に届きませんが、目標値に対しての不足分は平成28年度と比較して縮小できる見込みです。

課題

- ・保育士等の不足への対応について
配慮の必要な子どもへの対応等のため、保育士がこれまで以上に必要とされていることよって、各園では希望通りの保育士数を配置できないケースも生じており、保育士の確保対策が必要と考えています。
このため、今年度は「潜在保育士研修会」を開催し、保育士資格を保有しながら保育園等に勤務していない方の保育現場への復帰促進を図りました。
また「保育士等人材バンク事業」を開始しています。これにより、保育職場と保育職希望者を結びつけ、保育の担い手の増加に努めます。
- ・小規模保育事業等の設置について
子ども・子育て支援事業計画では、平成31年度に小規模保育事業所等を8園とすることとしていますので、引き続き待機児童の状況等を見極めながら、施設の設置に取り組めます。